

平成28年度

事業計画書

平成28年3月

公益財団法人 ブルボン吉田記念財団

平成28年度事業計画

定款第4条に掲げる事業として、下記の事業を行います。

(1) 学資金の貸与又は給付

学力優秀でありながら経済的な事由等により修学が困難な学生に対する奨学援護。

目的：奨学事業を通じて、次世代を担うグローバルな人材の育成や公衆の教養の向上、心身の健全な発展に寄与する。

平成28年度計画

①奨学金の貸与

4月分から毎月15日に親権者預金口座に振込む。

対象者	人員	1名当年間貸与額	年間貸与額
大学生	4年生 (20名)	月額 20,000 円×12 か月 = 240,000 円	4,800,000 円
	3年生 (25名)	月額 30,000 円×12 か月 = 360,000 円	9,000,000 円
	2年生 (21名)	月額 30,000 円×12 か月 = 360,000 円	7,560,000 円
	1年生 (25名)	月額 30,000 円×12 か月 = 360,000 円	9,000,000 円
	合計 88名		30,360,000 円

②奨学金の返還

- ・平成28年3月卒業生を対象に、奨学金借用証書及び返還予定書を提出指示。
- ・平成27年度以前の卒業生を対象に、奨学金の返還指示及び諸通信の連絡。
- ・平成28年度返還額予定額 12,500,000 円

③第41回（平成29年4月進学）奨学生募集活動計画

- ・募集人員：大学生25名（新潟県出身者20名、山形県出身者5名）
- ・募集要項の発送 10月上旬
対象校：高等学校121校 新潟県109校
山形県庄内地域12校
- ・募集締切：平成28年12月下旬
- ・第1次選考委員会：平成29年1月下旬
- ・2月上旬に選考結果を通知し、1次合格者のうち進学決定者を採用し、4月上旬に決定します。

(2) 文化資料館、博物館、美術館等の設置、運営

文化資料館「ドナルド・キーン・センター柏崎」の運営。

目的：平成25年9月に開館した「ドナルド・キーン・センター柏崎」の運営とその企画事業において、ドナルド・キーン先生の執筆・翻訳・教鞭活動に関する資料の収集・展示を通じ、日本文化や日本文学の素晴らしさを再発見する場を提供する。

本年度の「ドナルド・キーン・センター柏崎」関連の事業計画は以下の通りです。

【ドナルド・キーン・センター柏崎の常設展示の運営】

目的：キーン先生の今日までの歩みや仕事を常設展示し、来館者に日本文学を愛するドナルド・キーンという人間を知ってもらうと同時に、日本文学、日本文化の面白さ、素晴らしさを発見、認識してもらう。また、ニューヨークに存在したキーン先生の書斎を復元・展示して、90歳で日本人となったキーン先生の日本への愛を感じてもらい、日本と日本人を見つめ直す場とする。

年間250日を開館し、5,000人の来館を計画する。

(平成27年度実績予測4,150人)

●平成28年度計画

- ①展示解説の向上～毎月、ボランティア勉強会を開催し、理解度を深めていく。
- ②アンケート調査による展示コーナー別滞在時間及び展示内容満足度調査の実施
- ③展示品のレプリカ製作の検討(例：絨毯等)

【企画展の計画】

目的：常設展示だけでは、伝えきれないキーン先生の多彩な文学研究の世界を、企画展示として紹介し、日本文学の魅力を、日本文化の素晴らしさを思い起こさせる一助とする。平成28年度は、春の開館時より、12月25日まで年間2回の特別企画展を開催する計画です。1回目と2回目を夏休み期間中に切り替えることで、夏休み期間中に2つの特別企画展を見学できるようにいたします。

また、他館との共催企画展や平成27年度10月以降に実施した出張展示会等を継続して開催いたします。

●平成28年度特別企画展

①「写真で綴るドナルド・キーンのあゆみ」展

2015年は、ドナルド・キーン先生のテレビ番組もあったことから、前にも増してドナルド・キーン先生への注目度が高まっています。そこで、今年は、さらに多くの国民の皆様先生に先生の「人となり」を知っていただくことを目的に写真展を開催いたします。幼少期から今に至るまでを写真を通して、先生の日常のお姿、作家との交友、研究活動を親しみやすく紹介いたします。

(平成27年11月16日(月)平成27年度第3回理事会にて承認)

期間：平成28年3月10日(木)～同年8月7日(日)

会場：ドナルド・キーン・センター柏崎2階特別企画展室

この企画展には、下記の法人、団体からのご後援をいただき、開催いたします。

後援	新潟県、新潟県教育委員会、柏崎市、柏崎市教育委員会 東京都北区、東京都北区教育委員会、東京都北区立中央図書館 新潟日報社、BSN新潟放送、NST、TeNYテレビ新潟、 新潟テレビ21、エフエムラジオ新潟 柏崎日報社、柏新時報社、柏崎コミュニティ放送
協力	株式会社ブルボン

② (仮)「ドナルド・キーン 日記に見る石川啄木～最初の現代日本人～」展

ドナルド・キーン先生の心をとらえて離さない一人の詩人、石川啄木。ローマ字日記を含む啄木の日記を通して、先生が指摘する「最初の現代日本人」の意味を先生が実際に使用された資料等で紹介しながら、読み解いていきます。

(平成27年11月16日(月)平成27年度第3回理事会にて承認)

期間(予定):平成28年8月10日(水)～同年12月25日(日)

会場(予定):ドナルド・キーン・センター柏崎2階特別企画展室

●他館との共催による企画展

・群馬県立土屋文明記念文学館:「角田柳作」展(平成28年10月開催予定)

ドナルド・キーン先生の恩師角田柳作先生の出身地である群馬県にある群馬県立土屋文明記念文学館20周年記念企画展の「共催」について具体的作業を進行して参ります。

当ドナルド・キーン・センター柏崎での開催は平成29年3月以降の予定です。

(平成27年3月16日(月)平成26年度第3回理事会にて承認)

●出張展示企画展

他の記念館、図書館、官公庁や企業、学校等の施設にてドナルド・キーン・センター柏崎の所蔵品や過去の特別企画展にて製作した展示パネル等を一定期間貸与し、展示していただくことで、当センターの知名度向上とドナルド・キーン先生が世界に発信し続ける日本文化、日本文学への造詣を深めていただくことを目的に開催する。

【講演会の計画】

目的:「ドナルド・キーン・センター柏崎」から発信される日本文化や日本文学の素晴らしさ、おもしろさをより具体的に公衆の皆様にお伝えし、理解していただき、教養として身につけていただくことを目的として開催する。また、特別企画展の展示内容の深掘りし、特別企画展の展示の理解度を高めることをも目的とする。

●平成28年度講演会

①「ドナルド・キーン・センター柏崎」開館3周年講演会

～柏崎市名誉市民ドナルド・キーン先生を迎えて～

(仮題:予定) ドナルド・キーン 日記に見る石川啄木

センターの開館3周年を記念して、地元柏崎を中心に協賛社を募り、9月19日(月)に開催を予定。

柏崎市、柏崎市教育委員会等と共催で開催することで、市内の小中学生への教育の一環として、講演会だけでなく、当センターへの見学会も誘致する。

また、キーン先生の「東北を忘れない」というお気持ちを受けて、講演会の入場料等の収益の中から、東日本大震災の被災地にキーン先生推薦図書5冊～10冊程度を4町に寄贈する。

会場 : 柏崎市文化会館アルフォーレ

入場料: 大人 1,000円(公益目的事業収益)

工程	： 28年	4月	実行委員会立ち上げ 予算案の作成
		5月	講演会内容(案)の作成→キーン先生へご提案、決定 講演会企画書による協賛社募集
		6月上旬	チラシ、ポスターの制作・配布
		6月下旬	講演会開催告知開始
		8月中旬	広告掲載
		9月19日	開催

【センター主催：定期セミナー計画】

目的：常設展示や特別企画展の展示内容の深掘りやドナルド・キーン先生が永年にわたり、研究されてきた日本文学や造詣が深いオペラ等に関するセミナーを定期的で開催し、市民の文化意識の向上とともに、ドナルド・キーン・センター柏崎の持続性を高める。

●平成28年度計画

①特別企画展関連「ミニ講演会」

特別企画展のテーマに関連した講師をお招きして開催。28年度は、5月・8月・10月に開催の予定。

会場：ドナルド・キーン・センター柏崎大型映像ホール

定員：50名

受講料：500円（公益目的事業収益）

今年度は、特別企画展「写真で綴るドナルド・キーンのあゆみ」展及び「ドナルド・キーン 日記に見る石川啄木」展に関連したテーマやキーン先生の研究テーマに関するミニ講演会企画を計画しています。

5月：（予定）ドナルド・キーン：クロニクルに関するテーマ

8月：（予定）オペラに関するテーマ

10月：（予定）石川啄木に関するテーマ

②「朗読会」

9月19日の記念講演会「ドナルド・キーン 日記に見る石川啄木」の中で、語られる石川啄木の作品についての朗読会を行う予定です。

時期：11月（予定）

【教育普及活動】

①小中高校生向けの授業の一環としての「勉強会」の開催

ドナルド・キーン先生の「人となり」について、小学校（国語、道徳）、中学校・高校（英語）の教科書に取り上げられていることをきっかけとして、各学校に対し、案内チラシを配布し、来館につなげる。（勧誘する地域は、今年度は、柏崎市、長岡市、上越市とする）勉強会は事前申し込み制として、学芸員が説明にあたる。なお、見学料は無料とする。

②テレビ番組上映会の開催

3月10日からの特別企画展「写真で綴るドナルド・キーンのあゆみ」展の開催に合せ、

キーン先生と柏崎とのつながり、キーン先生の日本への想いをより深く理解して頂くことを目的に、過去に製作・放送されたテレビ番組を期間・時間を決めてセンター内大型映像ホールにて開催する。

上映予定番組 「大英博物館から甦った 幻の古浄瑠璃 東京見参!!」

—越後國・柏崎 弘知法印御伝記—

「ドナルド・キーン先生日本人となる」

上映予定期間 4月1日～8月7日までの土曜・日曜

上映会参加費 無料～上映会後、展示見学の場合は、団体扱いとする。

【研究活動計画】

- ①展示資料及び収蔵資料のデータ化の完成とHP上での情報公開をすすめる。
- ②展示資料及び収蔵資料についてのキーン先生とのつながり（縁）の調査をすすめる。
- ③キーン先生の過去の講演録及び映像の一覧化をすすめる。
- ④キーン先生の最近のお姿の映像化をすすめる。
- ⑤財団報の作成準備。

【PR活動計画】

- ①広報誌、雑誌とのコラボレーションによるPR活動。
JR東日本企画「大人の休日倶楽部」会員むけご招待企画（予定：現在交渉中）
（内容）9月19日記念講演会に100組200名をご招待
「大人の休日倶楽部」8月号に記念講演会告知記事を掲載
- ②旅行会社にむけて、パンフレットを発送。旅行社との連携により、柏崎や新潟県内の「食」や他、観光スポットを巡る観光企画の誘導（柏崎市観光課、柏崎観光協会の協力も必要）を検討する。
- ③全国の大学の文学系学部へのパンフレットの配布。
- ④柏崎市の観光タクシー「ちよっ得タクシー」への協力（3月10日～12月25日）
- ⑤柏崎コミュニティ放送「柏崎発！ドナルド・キーンの世界」や広報かしわざき「コレクション紹介」の継続により、地元での当センターの周知とキーン先生の理解度を深める。
- ⑥広告掲載（投入）
 - ・ラジオ広告 BSN新潟放送 期間 平成28年3月10日～11月25日
全県20秒×63本
 - ・新聞広告 東京新聞 平成28年8月予定
 - 新潟日報 平成28年4月、8月、11月 平成29年3月予定
 - 柏崎日報 平成28年4月、8月、11月 平成29年3月予定
 - ・その他、観光・旅行雑誌への掲載を随時検討する。

【地域連携への強化活動】

目的：ドナルド・キーン・センター柏崎が有するキーン先生由来のコンテンツを市民の皆様様に有意義に活用していただき、文化意識の向上に貢献する。

●平成28年度計画

①古典を読む会公開講座開催への協力

②柏崎市内で開催される「オペラ講演」及び「文化事業」への「後援」又は「協力」の名義貸し。

【ボランティア組織の活動への協力】

ドナルド・キーン・センター柏崎の日々の運営に協力していただいているボランティア組織のイベント活動に協力することで当センターの周知と集客につなげる。

気軽に立ち寄れる雰囲気作りとトライヤル客の獲得を目的とする。

(主な協力内容) 場所の提供

HP等での告知

イベント参加者の展示見学希望者への団体割引適用

(計画されているイベント等)

勉強会

お茶会(春・秋)

ロビー展示会又はロビーコンサート

生花等各種講座

【褒賞事業への取り組み】

日本文学・日本文化を世界に発信するべく優れた翻訳・評伝作品に対する褒賞。

本年度の事業においては、運営資金・運営要員の不足という実情を踏まえ、以下の活動を開始する予定です。

●平成28年度計画

- ・褒賞事業内容案及び事業実施の為の組織案作成
- ・褒賞事業案・選考委員案の作成提案
- ・理事会にて審議及び承認
- ・選考委員候補者案の決定
- ・選考委員の理事会承認

(3) 文化・芸術・体育等に関する振興活動

目的：教育及び文化・芸術・体育等への振興に関する助成・協賛を行い、広く、教養の向上及び心身の健全な発展に寄与する。

① 文化芸能・スポーツ振興に対する助成事業(公募)

目的：文化芸能・スポーツイベントへの助成を通して、次世代への継承や次世代の育成及び公衆の心と身体健康増進に貢献する。

●平成28年度計画

本年度においては、運営資金・運営要員の不足という実情を踏まえ、実施いたします。

- ・予算 文化芸能振興助成事業 100千円 体育等振興助成事業 100千円
- ・「助成金給付規程」に基づき、助成金給付実施要項の作成
- ・HPにて公募

- ・理事会選考・承認
- ・該当団体に助成金の給付

②外国人留学生への研究助成事業

目的：次世代を担う外国人日本文学及び日本文化研究者の育成に貢献する。

●平成28年度計画

本年度においては、運営資金・運営要員の不足という実情を踏まえ、以下の活動を開始いたします。

- ・優秀な外国人留学生の選考及び受入れ先となる団体の選定
(候補：東京日本語学校、国際交流基金等)
- ・選考基準の策定（日本語スピーチコンテスト等）

(4) 公益目的事業に関連する物品販売（収益事業）

当財団の公益事業における「ドナルド・キーン・センター柏崎」にて、センター専用商品として製作したオリジナルグッズやキーン先生関連の著作本や翻訳本をセンター内にて販売します。

販売商品

当センターオリジナルデザイン付きグッズ、図録の販売

当センターの専用ロゴ（キーン先生直筆）を印刷した商品の販売

キーン先生の著作本・翻訳本の販売

目標値

購入者目標人数 750人

（5,000人×15%：27年度の購入者比率実績より）

事業収入目標額 1,425,000円

（750人×1900円：27年度の1人当購入金額実績より）

(5) 管理部門の計画

- ① 事務局内人材（学芸員）及び施設管理者（館長候補）の育成。
- ② 新理事、新監事、新評議員の候補者の人選。
- ③ 事業検討委員会による「ドナルド・キーン・センター柏崎」の中長期にわたる運営計画の策定。
- ④ 安定した財団運営のための事業資金の調達と資産の整備。
- ⑤ 地元主導、地元への貢献体制の確立。
- ⑥ その他

上記の事業等を実施するにあたり、「平成28年度収支予算」は次項に記載。